

1. 総評

(1) 年度初めの学校の状況 【学校の現状及び前年度の成果と課題】

学校の現状・児童数は420名程度であるが、欠席が一日平均10人前後と少なく、児童は明るく元気である。

- ・人なつこい面と、恥ずかしがりやの両面をもつ。
- ・児童は素直に学習や運動などの活動に取り組み一生懸命努力する児童がほとんどである。
- ・委員会活動などでは自分の仕事を最後まで責任をもってやろうとする児童が多い。
- ・教師の人間関係が良好で和やかであり、前向きで意欲的・協力的である。
- ・運動会や展覧会など行事内容が魅力的で質がよく、保護者からの評価も高い。
- ・PTA、地域が協力的で、期待も大きく、それに応えようと努力する教師が多い学校である。

◎前年度の成果

「いのち輝く西一っ子」を合い言葉に、知・徳・体の調和のとれた児童の育成に努めた。学力向上に向けて、全学年で算数習熟度別学習を中心にICTや電子黒板等を活用した授業も積極的に展開した。教師の資質・能力も向上してきている。区学力調査結果は、前年度通過率が76%台となり28年度より8%上がった。その点を鑑み、総力戦で学力向上に向けた取り組みを実践してきた。また、学校とPTA、地域が連携し、登下校指導やあいさつ運動、8・3運動を年間通して実施し、30名を超える地域安全ボランティアの方々の児童の登下校見守りなど安全を確保するとともに交通安全や不審者対策への意識を高めた。

◎課題

- ・区学力調査では、29年度は通過率が76%を超えた。その日学んだことはその日に十分身につけることが一番であり、定着個人差が幅広く、個に応じた宿題等を検討していく必要がある。また算数科では習熟度別学習に1年生以上が取り組みその成果が出ている。しかし、言語事項の理解度、読解力の不十分さが、算数科の文章問題に対して影響を与えている。相関的な視点から具体的な向上策を立ていく必要がある。
- ・学習習慣の確立されている児童も多いがそうではない児童も多く二極化の傾向がある。昨年度より改善されてきているが、家庭での基本的な生活習慣（早起き・早寝・朝ごはん）が確立されていない児童が、特に早寝で25%程度を占めている。以上の課題が解決されれば、学習意欲や学力もより向上すると考えられる。
- ・運動会や展覧会、音楽会などの様々な行事への取り組みは、教師の熱心な指導の下に質の高い内容をみせているが、児童の主体的な活動のもとに行事が進められることを教師は願っている。教室内の係や当番活動でも教師に指示されれば行うことができるが、自ら気づき行動するという点で課題がある。
- ・安全教育の充実を図るために、これまでの本校での取り組みを生かし、年間計画に基づき安全教育をさらに高めていく。エピペンやAEDの実地訓練は年度当初だけでなく、定期的に行い教員の意識の啓発を高めていくことが必要である。

(2) 今年度の重点目標とそれに向けた取組みの概要

重点的な取組事項－１ 「いのちかがやく西一っ子」－あふれる意欲と確かな学力を身に付けた子どもの育成－

- 本年度の小中連携は「足立スタンダードの徹底」をテーマに西新井中学校と西新井第二小学校、鹿浜第一小学校との４校での小中連携をスタートさせた。各教科や保健部、特別支援教室部を含め10分科会に分かれて、指導案検討や研究授業及び協議会を行った。４校での連携は運営や日程調整など難しい課題があるが、各分科会のチーフを中心に連携を進めていく。そして連携の最終日となる1月には、本年度の連携を振り返り、次年度に向けての課題を各分科会で出し合い報告会を実施する。加えて次年度計画案を作成させる。
- 基礎・基本の定着を図るために1年生以上で算数の少人数習熟度別指導を実施する。土曜授業で増加した時間を活用し国語や算数などで、補充学習や発展学習（単元末の「西一きらきらタイム」や放課後の「西一すっきりタイム」の実践）など個に応じた指導を展開していく。また児童に読書の習慣を身につけさせるために読書旬間を年間2回実践する。朝学習を活用した言葉の学習や漢字、計算のマスターテストやパワーアップタイムの取組を全校で実施し、学力向上を図っていった。学力の定着の度合いを担当が知るために10月、12月と2月に本年度の区学力調査の問題に取り組み、全体での補習や個別指導に役立てる。
- 事務処理のICT化を推進し校務を効率化することで生み出した時間で教材研究を充実させていく。職員会議など会議を精選し、教材研究の時間を確保し、授業の質を高める。また職員打ち合わせを児童の下校後に実施し、登校から下校まで子どもに寄り添う体制を進めていく。
- 家庭教育充実のため、共通認識に基づいた宿題を課すとともに、リーフレット「いきいき生活のすすめ」を活用し、「家庭学習をがんばろう週間」の取組を年3回実施し、保護者と連携しながら家庭学習の習慣の育成・定着を促していく。
- 小1プロブレムの問題解決に向けて、保育園との交流を通して1年生の円滑な学校生活への移行を進めていく。本年度は私立保育園が1園加わり、保育園の5歳児担当の保育士と1年担当の教員との相互の研修や就学前の保護者への啓発活動を保育園で行なう。

重点的な取組事項－２ 「いのちかがやく西一っ子」－心身ともに健康で、心豊かな子どもの育成－

- 心身の健康づくりを目指し「すこやか会議」、給食後の歯磨きの取組を行うとともに、朝遊び・中休み遊びの奨励、なわ跳び、持久走等の取組を行っていく。
- 生活習慣の確立のため、リーフレット「いきいき生活のすすめ」を活用し、「親子でいきいき生活週間」の取組を年3回家庭と連携していく。
- 思いやりの心を育成するため、区主催の「凧祭り」や家庭や地域と連携して開かれ主催で「親子DE漢字検定」など様々な体験を通して、基礎学力を高めるとともに、一緒に凧づくりやたこ揚げをすることで感謝の気持ちや思いやりの心を育てていく。
- 「食」への自己管理能力の向上を図るため、栄養指導や「もりもり通信」の発行、セレクト給食やバイキング給食などを行っていく。また区の給食メニューコンクールには5・6年生が夏休みの必修課題として取り組み、校内での賞を本年度はセットし意欲の向上を図る。
- 道徳的な実践力の向上のため、道徳教育の充実やユニセフ募金、クリーン活動などの奉仕活動、学区域の高齢者福祉施設訪問(3年)や地域安全ボランティアさんへの感謝集会などを実施する。

重点的な取組事項－３ 「いのちかがやく西一っ子」－安全への意識をもち、たくましく生きる子どもの育成－

- 安全教育を推進し、児童の防災意識を高めるため、地域防災スクールモデル事業で行った経験を生かし、安全に関する指導を保護者や地域、消防署や消防団などの関係諸機関と連携していく。
- 西一CS・開かれた学校づくり協議会及び地域安全ボランティア、保護者や教職員が連携し、児童の登下校の安全を確保するため、見守り活動や教師による登校指導及びあいさつ指導を行っていく。
- 警察署や区役所、薬剤師及び関係機関と連携し、セーフティ教室や薬物乱用防止教育などを行い、保健・安全教育の推進を図る。加えて本年度は「自殺防止に向けて」という講習会を保健所の方に講師としてきていただき実施する。
- 給食のアレルギー問題対応に向けて、4月上旬に全職員で配膳までの手順の確認やエピペンの実技研修を行うと共に、AEDの使用についても実技研修を行う。また6年生もAEDや人工呼吸法、心臓マッサージの研修を行う。

(3) 今年度の成果と次年度に向けた課題及び解決の方向性

重点的な取組事項－1 「いのちかがやく西一っ子」 あふれる意欲と確かな学力を身につけた子どもの育成－

○教師の授業力の向上

本校は主任教諭が6名、教諭が9名と足立区の小学校の中では若手教員が少ないほうではある。しかし学級担任としての授業力向上は必須である。区教委の「足立スタンダード」に沿って授業改善をこれは若手教員だけでなく、板書の仕方やノート指導の統一、思考させる場や発表の場など全教員で共通理解し、実践していくことで学校力となってきた。本年度は若手の初任者、産育休代替教員の育成が大きな課題となり、教科指導専門員の指導を国語・算数において計画的に毎月受けてきた。

また、小中連携においても、4校での分科会形式による「足立スタンダード」の徹底を授業参観・協議会を通して交流を図った。また、管理職による全学級の授業観察を年2回以上実施するとともにOJTの取組をすすめて、教師の授業力向上を図った。校内研修は、今後を見据えた英語科やICT研修などを行ったが、国語・算数で若手の授業を全教員で見合う日を年間4回はセットした。

○基礎・基本の確実な定着…算数では1年生でTT、少人数習熟度別指導を全学年で実施し個に応じた指導の充実を図った。加えて本年度も学習支援員を1年生のクラスに常時入れ、きめ細かな指導を実施した。また1年副担任制(専科教員が担任をサポート)を推進した。読書旬間を年3回実施し、児童に読書習慣を身につけさせ、読書を愛好する態度を育成した。読解力向上に向けては、本校の大きな課題であり、この読書習慣の徹底を図るとともに、「読解力向上ワーク」を全学年で実施した。また毎週月曜日の児童朝会での校長講話や教員話の後、4年生以上はその後すぐに教室で話の事実と考え・意見などを記入させ、聞くこと・書くことに慣れさせるようにした。

○教材研究の充実による質の高い授業の実施-登校から下校まで子どもに寄り添う体制づくり-

ICTを活用して校務の効率化を図るとともに会議を精選し生み出した時間で、教材研究を充実させ授業の質を高めるとともに登校から下校まで子どもに寄り添う姿勢をさらに向上させてきた。

○家庭教育の充実…リーフレット「いきいき生活のすすめ」を活用し、「家庭学習をがんばろう週間」を家庭と連携して実施し、家庭学習の習慣の育成を促した。個に応じた宿題等を進めてきたが学校として十分な成果はでなかった。次年度は、個に応じた家庭学習の指導・支援をさらに進めていく。

○幼保小連携…幼保小連携を行うことにより、小学校への移行期の円滑な接続を進めた。来年度はさらに連携保育園2園と1年生の学習内容との連結、指導の交流等を積極的に行っていく。また、MIMの活用についても連携保育園と相談しながら拡大して以降と考えている。

重点的な取組事項－2 「いのちかがやく西一っ子」- 心身ともに健康で、心豊かな子どもの育成－

○心身の健康づくりの奨励…心身の健康づくりを目指し「すくすく教室」や「すこやか会議」の開催、給食後の歯磨き・虫歯予防の取組を行った。また、大なわや短なわでの縄跳び、持久走を実施し、それぞれ強化月間として心身の健康づくりを推進した。本年度も区の施策である「給食メニューコンクール」には5・6年生全員で夏休みの課題として取り組んだ。毎年入賞者がでていく。次年度はもっと家庭での年間を通じた実践を進めていく。各クラスの残さい率を下げるために栄養士と協力し新しい企画を実践した。また、今後、区の施策である「朝ごはんを自分でつくる」に向けて、学校での実践に加えて、夏休みの課題として「マイ朝ごはん」コンクールを校内で企画する。

○生活習慣の確立…リーフレット「生き生き生活のすすめ」を作成し、長期休業日あけに「親子でいきいき生活週間」の取組を行い、家庭と連携して、早起き、早寝、朝ごはんの習慣を身につけさせた。早寝が課題であり、来年度はPTAや開かれた学校づくりとも連携し、家庭に呼びかけていくことで更なる改善を図る。

○豊かな体験活動でのふれあいを通じた思いやりの心の育成…凧づくり・凧まつり参加・漢字検定、また、開かれ・PTA共催の「西一ふれあい祭り」など豊かな体験活動を通して、教養を高めるとともに思いやりの心を育てた。高齢者施設の訪問は、マンネリ化してきたが次年度は新しい企画を立てさせる。

- 「食」への自己管理能力の向上…ランチルーム給食での栄養指導やもりもり通信発行、給食だより発行、セレクト給食やバイキング給食実施などにより「食」への関心を高め、感謝の心を育むとともに「食」の自己管理能力の育成を図った。残滓率は昨年度3%だったが、本年度は2.5%近くまでになってきた。本年度はランチルームにもエアコンがセットされたので、年間を通したランチルーム給食の実施を計画し、マナー等の向上などを行ってきた。
- 道徳的な実践力の向上…道徳の指導を計画的に行うとともに道徳授業地区公開講座を開催した。高齢者福祉施設訪問を本年度も3年生で実践した。内容がマンネリ化してきているので、施設の担当とも協議し、新しい企画をセットしたい。またクリーン活動、ユニセフ募金などの奉仕活動等の体験活動や地域安全ボランティアさんへの感謝集会などを開催し、道徳的な実践力を育成していく。

重点的な取組事項－3 「いのちがやく西一っ子」－安全への意識をもち、たくましく生きる子どもの育成－

- 保護者や地域関係機関と連携した安全教育の推進…地域防災スクールモデルの経験を生かし、全学年1回以上、安全に関する指導を保護者や地域と連携して行った。昨年度も西新井消防署と連携し消火活動の避難訓練を行った。本年度は4年生が西新井消防署を見学し、防災への意識を高めた。次年度はまた新しい企画を担当部署に考えさせて実施する。
- 保健・安全教育の推進…警察署や区役所・薬剤師及び関係機関と連携し、セーフティ教室、交通安全教室、自転車教室1回、薬物乱用防止教室6年実施し、保健・安全への意識を高めた。セーフティ教室は低・高学年に分け、発達段階に応じたテーマを設定し実施した。次年度は前期の土曜授業である学年が実施し、保護者の参加型の教室を実施していく。そのことで不審者対策の一助としたい。
- 地域安全ボランティア・保護者と共に児童の登下校の安全を確保する…地域安全ボランティアや保護者による登下校の見守りを実施した。教師も朝のあいさつや登校指導を行い、児童の登校状況を確認し、交通ルールの遵守等の指導に生かした。次年度は、30数名に渡るボランティアの方々へ開かれの予算で購入するベストウェアを配布し活動のサポートをしていく。

2. 平成30年度の重点的な取組事項 <達成度 ◎:十分に達成 ○:おおむね達成 △:達成せず ●:課題が残る>
重点的な取組事項－1 「いのちがやく西一っ子」－あふれる意欲と確かな学力を身につけた子どもの育成－

今年度の成果目標		達成基準	実施結果	コメント・課題	達成度
確かな学力の定着		足立区学力調査における目標値通過率80%以上	学力調査の通過率が72.6%となり、目標値達成率を区の平均を少し上回った。	繰り返し学習する場の設定や読解力の向上、個に応じた指導・家庭学習が必要。	△
目標実現に向けた取組	達成基準	具体的な方策	実施結果	コメント・課題	達成度
○教師の授業力の向上	○小中連携として各分科会での指導案検討や研究授業、協議会を年間8回実施する。	○各分科会では、足立スタンダードにのっとった授業を展開し、その状況を協議し改善を図っていく。	○本校での研究授業は算数習熟度別授業を3展開ではなく4展開まで拡大して実施した。また他の許可もスタンダードに沿った授業を展開した	○足立スタンダードの実践は各分科会で濃淡があり次年度の課題とした。	○
	○管理職による授業観察年2回以上実施	○管理職による国語・算数の授業観察年2回以上実施	○全教員年2回以上実施した。	○継続して行う。	

今年度の成果目標	達成基準	実施結果	コメント・課題	達成度	
	<p>○OJT担当者はOJT対象者の研究授業へのアドバイスを年間2回行う。学年主任との連絡会を月1回行う。</p>	<p>○校内アドバイザー制度を整え経験豊富な教員(OJT担当者)が若手教員(OJT対象者)を計画的に指導する。OJT計画シートを使って具体的な方針を立てO若手教員を育成していく。</p>	<p>○校内アドバイザー制度において、研究授業へのアドバイスなどを含め年間を通して行った。OJT計画シートが活用できず、来年度は使いやすいシートに改良を加えていく。</p>	<p>○継続して行う 今後さらにOJTの仕組みを充実させる。</p>	
<p>○基礎・基本の定着</p>	<p>○チーム力を生かした指導体制を工夫することにより授業の質を高め、基礎・基本の定着を図る。</p>	<p>○算数少人数習熟度別指導、個別学習の充実 ○1年副担任制実施 ○学習支援員の活用</p>	<p>○算数少人数指導を2～6学年、1年生はTTの形で実施するとともに一部習熟度別指導を実施。 ○支援員の協力がこの1年生の生活・学習の安定につながった。</p>	<p>○1年副担任制は継続して実施した。1年生の担任のサポートが十分にできた。</p>	○
	<p>○足立区学力調査における目標値達成率を80%以上にする。</p>	<p>○指導体制の工夫、全ての学力向上策を通して、学力調査の数値目標を達成する。学力調査結果をSP表による分析を行い、学力向上策に生かす。</p>	<p>○4月実施した国語・算数の総合が目標通過率を下回り、その分析を学力向上委員会で分析し、組織力をさらに向上させ、縦の糸と横の糸を強化してきた。</p>	<p>○補習授業等の充実を目指し、予備調査を年間2回実施し、診断的に基礎学力の定着度を測る。</p>	
	<p>○国語・算数の各単元指導計画の最後に「きらきらタイム」として1～2時間位置づける。個に応じた課題解決のために放課後の補充学習「すっきりタイム」を各学年週1時間以上を位置づける。</p>	<p>○国語・算数の指導計画の最後に「きらきらタイム」として位置づける。その際ポートフォリオの手法を活用し、児童一人一人の定着度を調査・分析し、定着不十分な学習内容を補充学習する。また、定着に課題のある児童については放課後学習「すっきりタイム」に参加させ、課題の解決を図る。</p>	<p>○年間計画に基づき単元の指導計画最後に「きらきらタイム」及び放課後の「すっきりタイム」を設定し、国語や算数の補充学習や発展学習を実施した。学年によっては十分に時間を確保して行うことができなかった。</p>	<p>○学力ポートフォリオについては、業者テストを国語・算数において統一し、ポートフォリオを1年から6年までの形式を統一し活用を図ることができた。</p>	
	<p>○年3回の読書旬間(6月)・月間(10月)・週間(1月)実施</p>	<p>○読書週間の取組を通して、読書を愛好する態度を育成する。</p>	<p>○読書旬間を年間3回実施した。教師の読み語りを担任以外で実施した。</p>	<p>○週1回金曜日の朝の読書タイムを習慣化させる。</p>	

今年度の成果目標	達成基準	実施結果	コメント・課題	達成度	
	○朝学習パワーアップタイムや授業時間を活用し、漢字・計算マスターテスト及びステップアップテスト、国語マスターテストで9割の児童を合格させる。百マス計算及び詩の朗読なども計画的に進める。	○朝学習を活用した漢字・計算のマスターテスト、授業時間に実施する「ステップアップテスト(ふりかえり用)」や国語マスターテストの取組を全校で実施する。また、百マス計算や朗読を実施し、計算力等の向上を図る。	○年間通して朝学習に取り組んだ。百マス計算や詩の朗読なども計画通り実施した。家庭による温度差が否めないが、達成できなかった児童及び家庭への啓発等を考えていく必要がある。	○家庭に知らせる西一カードなど内容を整理し、一つの事業の徹底を図っていく。	
	○夏季補習教室「西一サマースクール」を水泳指導と組み合わせ10回実施。	○夏休みの補習教室「西一サマースクール」を10回実施し、学習相談並びに基礎・基本の定着を図る。	○全学年10回の西一サマースクール教室を水泳教室と組み合わせ実施できた。基礎学習教室も本年度初めて実施した。	○児童の実態に合った教材や指導法が必要である。	
○教材研究の充実による質の高い授業の実施ー登校から下校まで子どもに寄り添う体制づくりー	○児童名簿、出欠席管理、通知表及び図書室蔵書管理のICT化を進める。	○事務処理のICT化を推進し校務を効率化することで生み出した時間で教材研究を充実させる。	○児童名簿、出欠席管理、通知表、図書室蔵書のICT化を100%実用化した。その余剰の時間を活用し教材研究を日々進めている。	○継続して行う	○
	○会議を精選し教材研究の時間を確保職員会議を年間8回とする。	○職員会議など会議を精選し、教材研究の時間を確保し、授業の質を高める。	○職員会議開催回数年間8回実施し、会議の精選化を図ることができた。	○企画委員会を職員会議前にセットし更なる精選化を図っていく。	
	○職員打ち合わせ(終礼)は児童下校後、16時30分より15分間、週4回実施	○職員打ち合わせを児童の下校後に実施し、登校から下校まで子どもに寄り添う体制をつくる。	○終礼を週4回とし、職員の共通理解を図った。職員会議も時間の短縮化を図った。	○金曜日はSCのミニ研修にも当たった。	
○家庭教育の充実	○「家庭学習をがんばろう週間」の年3回実施を通して低学年20分、中学年40分、高学年60分の家庭学習時間達成。	○PTAと連携した「家庭学習をがんばろう週間」の実施(リーフレット活用)を通して、めあての家庭学習時間がとれるような宿題を出すとともに自主学習を促す。	○年度当初にリーフレットを作成し、家庭学習をがんばろう週間を、年3回実施した。	○継続して行う 個々の児童をみると、学習する児童とほとんどしない児童に二極化している。個別指導を進める。	△

今年度の成果目標	達成基準	実施結果	コメント・課題	達成度	
	○夏休み前に個人面談を実施する。	○個人面談により学力・体力調査結果や児童の学習や生活等の教育情報を交換し、家庭との連携を図る。	○夏休み前に区学力調査の個人結果を提示し、家庭学習の課題等を提示できた。	○継続して行う。家庭と情報交換をする機会として有効活用する。	
○幼保小の連携	○近隣保育園を招き給食や行事等での交流を年1回以上行う。	○保育園との交流を通して一年生の円滑な学校生活への移行を進め小一プロブレムを予防する。	○西新井聖華保育園・チェリッシュ保育園との交流給食及び授業体験2回、学芸会や運動会に保育園児を招待した。職員交流研修など年間を通して、幼保小連携事業を展開した。	○継続して行う。次年度は数の遊びやひらがななど1年生の学習に結びつく教員研修を行う。	○
	○夏季休業等を活用した相互の教員交流を2回以上行う。	○教員交流を行うことで資質を高め幼保園と小学校の移行期の指導を充実させる	○教員交流を冬季休業中及び1月に1回実施した。	○体験未経験者を研修に参加させる。	

重点的な取組事項ー2 「いのちがやく西一っ子」 一心身ともに健康で、心豊かな子どもの育成ー

今年度の成果目標	達成基準	実施結果	コメント・課題	達成度
心豊かな児童の育成	以下の5項目の総合評価 4段階 B評価以上	道徳及び食育の基本的な取り組みは十分に達成できた。	生活点検カードの分析結果より次への指導改善につなげたい。体力向上策を計画的に進めていきたい。	○

目標実現に向けた取組み	達成基準	具体的な方策	実施結果	コメント・課題	達成度
○心身の健康づくりの奨励ー西一っ子の健康合言葉を通してー	○「すくすく教室」年1回以上開催、歯磨き等の取組を給食後毎日実施する。	○心身の健康づくりを目指し「すくすく教室」、給食後の歯磨きの取組などを年間を通して行う。	○「すくすく教室」1回実施、「すこやか会議」1回実施、給食後の歯磨きの年間通して実施。	○継続して行う。学年学級に実施率の温度差があり、定期的に調査等を行い不十分なところは指導する。	○
	○体力向上カードを作成し、なわとびや固定遊具を使った運動など各種体育行事の取組を年間計画に基づき実施	○なわ跳び、長なわ、持久走を強化月間として集中的に扱い、運動する喜びを味わわせるとともに運動の習慣化を図る。	○体育科の授業の改善を図る。運動量の確保が一番の課題。	○次年度も短なわ月間(11月)、長なわ月間(12月)、持久走(1月)の3種目を位置づけ体力向上を目指す。新たに持久走も冬季に位置づける。	
	○保健便り年11回以上発行	○保健便りの発行を通して健康への意識を高める	○保健便り 11回発行	○次年度西中、西二小との連携。	

目標実現に向けた取組み	達成基準	具体的な方策	実施結果	コメント・課題	達成度
○生活習慣の確立	○「いきいき生活週間」の取組を年3回実施し、早起き85%、早寝70%、朝食98%を達成する。	○PTAと連携した生活点検の取組「いきいき生活週間」を実施(リーフレット「いきいき生活のすすめ」活用)し、家庭での指導と自己評価を行うことにより、早起き、早寝、朝ごはんの習慣を身につける。	○目標の数値は達成できたが、生き生き生活習慣の家庭での状況をもっと細かく把握する必要がある。	○継続して行う 早寝については達成率も低く課題があり、今後も家庭と連携して改善に向けて取り組む。達成しにくい家庭へのサポートを考える。	△
○豊かな体験活動でのふれあいを通した思いやりの心の育成	○PTAや地域と連携し、ふれあい祭りや漢字検定を実施。	○豊かな体験を通して思いやりの心を育てる。「凧まつり」「ふれあい祭り」「漢字検定」など実施。	○漢字検定は開かれの家庭教育部主催で行い120名を超えた。実施に当たって教員やPTAのサポートも参加も増加した。	○継続して行う。	○
○「食」への自己管理能力の向上	○ランチルームでの食に関する指導を全学級年2回実施する。バイキング給食6年、セレクト給食2回実施する。	○栄養指導や「もりもり通信」の発行・バイキング給食などにより「食」への関心を高め、「食」の自己管理能力の育成を図るとともに食への感謝の気持ちを育てる。	○ランチルームでの栄養指導全学級3回以上実施、給食便り11回発行、もりもり通信30回発行、セレクト給食2回、ドリンクバー1回、リクエスト給食3回実施した。	○継続して行う 今後も残滓率減少への努力を行っていく。 【残滓率の推移】 H28年度 2.5% H29年度 2.4% H30年度 1.8%	◎
○道徳的な実践力の向上	○道徳授業地区公開講座を年1回実施し、全担任が道徳授業を公開する。	○道徳授業を充実させるとともに道徳授業公開講座を通して道徳授業への理解を進める。児童の道徳性を育み教師の指導力向上を図る。	○全学級年35時間以上実施、道徳授業地区公開講座を土曜授業にあて全学級で実施した。	○継続して行う 保護者や地域のかたがたの参加型の授業に次年度取り組む。	○
	○高齢者福祉施設訪問、ピカピカデーや地域安全ボランティアさんへの感謝集会を年間計画に基づき実施。	○奉仕活動等の体験活動や感謝集会などを年間計画に位置づけ、青少年赤十字と連携して行うことにより、ボランティア精神を養うとともにより確かな道徳性を育成する。	○ピカピカデー2回、ユニセフ募金1回、感謝集会1回実施、高齢者福祉施設との交流を3年生が実施できた。	○継続して行う 地域清掃の場所や方向を次年度検討する。	

重点的な取組事項－3

「いのちかがやく西一っ子」 ― 安全への意識をもち、たくましく生きる子どもの育成 ―

今年度の成果目標	達成基準	実施結果	コメント・課題	達成度
児童の安全意識の向上	以下の3項目の総合評価4段階B評価以上	前地域防災スクールモデル事業の経験を生かし、安全教育を予定通り実施し子どもの防災意識が向上した。	保護者や地域、警察や消防署などと連携し引き続き児童の安全への意識を高めていきたい。	○

目標実現に向けた取組み	達成基準	具体的な方策	実施結果	コメント・課題	達成度
保護者や地域関係機関と連携した保健・安全教育の推進	○避難訓練を年11回実施するとともに、6年救命救急訓練を実施する。	○地域防災スクールモデル事業で培った経験を生かし、安全に関する指導を保護者や地域関係諸機関と連携して行い児童の防災への意識を高める。	○目標達成 全学年が計画通りの防災教育を実施、避難訓練は、キッズパレット共催も含め12回実施。	○継続して行う	○
	○薬物乱用防止教育6年1回、セーフティー教室年1回、自転車安全教室年1回、交通安全指導低：年3回、中：年2回、高：年1回	○消防署・消防団・消防ボランティア・警察署・区・薬剤師など関係諸機関と連携し、年間計画にもとづき保健・安全教育の計画的な推進を図る。	○目標達成 全学年計画通りの保健・安全教育を実施 薬物乱用防止教育：6年1回、セーフティー教室：各学年1回、避難訓練：年11回、自転車教室：3年1回	○継続して行う 今後も保護者や地域、足立区や警察、消防署などと連携し引き続き児童の安全への意識を高めていく。	
○地域安全ボランティア・保護者と共に児童の登下校の安全を確保する※あいさつの励行	○毎日の登下校の見守り	○ボランティアや保護者による登下校の見守りを毎日実施する。	○目標達成 感謝集会1回実施。	○継続して行う	◎
	○年3回の登校指導	○教師の登校指導及び挨拶指導を行い、児童の登校状況を確認するとともに挨拶運動を進める。	○目標達成 登校指導3回、東門でのあいさつ運動は毎日。	○継続して行う 児童会と連携して児童の主体的な挨拶運動を展開する必要がある。	
	○あいさつ保護者アンケート5段階評価85%以上	○生活指導目標に挨拶励行を位置づけ、計画的に取り組む。	○ほぼ目標達成 アンケートで良好な評価85%	○継続して行う	

(4) 保護者や地域へのメッセージ

- 欠席や遅刻等は必ず連絡を連絡帳で担任等にしてください。緊急の場合には電話でも構いません。安全・安心の学校づくりには必須です。
- 家庭学習の定着や読書のすすめなど家庭での教育環境づくりをお願いします。
- 基本的な生活習慣の育成を図り、子どもの健康づくりへの意識を高めてあげてください。特に、早寝早起きの習慣づけと、十分な睡眠時間の確保をお願いします。そのためには、テレビやテレビゲームは各家庭でルールをしっかりと決めてほしいと思います。
- 「SNS家庭のルール」を家族で十分に話し合い、そのルールの徹底をお願いしたい。
- 地域の行事やボランティアなどの奉仕活動への積極的な参加を促してください。
- 各種アンケートや家庭学習、生活チェック、宿題チェックなどにご協力下さい。
- 地域ボランティアの方々だけでなく、保護者の方々にも登下校をはじめ、放課後の生活など、事件や事故の未然防止のため、児童の見守りをさらに拡大してほしいと願っています。
- 本校では、区の水泳大会、陸上大会、男子サッカー、女子サッカーの4大会には全て自主的に参加しています。朝の練習や放課後の練習も教員が指導しています。選抜の大会ではあるのですが、ぜひ多くの保護者の方の応援をお願いしたいと思います。